



先進対策の効率的実施によるCO2排出量大幅削減事業

平成28年度予算（案）
3,700百万円（2,800百万円）

背景・目的 日本が排出する温暖化ガスを2030年までに13年比で26%削減する政府目標の達成に向けて、排出量の増加が顕著である業務部門と最大排出部門となっている産業部門における排出量の大幅削減を実現するには、**先進的な設備導入支援及び費用効率性向上を促す仕組み**や、更なる排出量削減に取り組む**事業者の裾野拡大**が必要。なお、低炭素社会実行計画では、設備の新設・更新時に**“利用可能な最高水準の技術”を最大限導入する**ことを前提に、2020年のCO2削減目標を設定することが掲げられている。

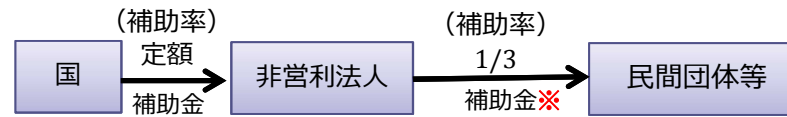
また、国内排出量取引制度の検討にあたっての実証として、参加者間で取引（売買）できる排出枠を付与して取引を可能とすることで、事業全体で着実なCO2排出量削減を実現するとともに、**排出量取引に対する事業者の意識醸成、制度面での課題の整理、知見の蓄積**を図る。

事業概要

- ①ASSETシステムの運用等
委託先：民間事業者 1億円（1億円）
- ②対象BAT設備機器の導入補助業務
36億円（27億円）

事業スキーム

実施期間：平成24年度～平成32年度
(26年度より間接補助化)



- ※ ●1実施事業者当たり上限：2億円
- 審査において環境省指定先進的
高効率機器導入比率**20%未満**
の案件は、20%以上の案件に劣後
- 排出量の第三者検証機関による
検証費用の事業者負担化

期待される効果

- 先進対策と運用改善による大幅排出量削減
- 各年度の参加事業者が掲げる削減目標量以上の削減を達成することで、排出量取引に対する事業者の意識の醸成につなげる。
- 削減目標を10%程度超過した事例等の特徴を業種毎に取りまとめ（20事例程度）横展開する。

環境省 店舗や工場で目標を立てて削減する取組を支援します。

事業者 大幅削減の目標達成（クレジット活用等を含む）

イメージ

電気代が高くなったけど設備更新ができない…

高効率設備の情報は少なく、高コスト

**環境省指定先進的
高効率機器一覧**

- ・コージェネレーション
- ・ターボ冷凍機
- ・工業炉、溶解炉 など全31種(H27改定時点)

グループ参加も可

対象設備の導入補助（採択基準：削減の費用対効果）
“リバースオークション”

創意工夫 費用を抑えて大幅削減するぞ！